

平成26年度事業報告

はじめに

毎年事業計画での基本方針の冒頭、大阪府剣道連盟に結集する剣道人は、常に、誰もが「剣道修錬の心構え」を念頭に修錬に励み、「世人の信託に応え得る人格の完成を目指す」と宣言している。しかし、本年1月、明らかになった、大阪での警察官による殺人事件、さらに和歌山県における剣道経験者による殺人事件など耳にするにつけ、誠に残念な思いにかられる。もちろん、これらは一人一人の個人の資質による問題であるかもしれないが、剣道界としてあるべき剣道人としての姿勢・態度を明らかにしていく必要性を痛感するものである。

平成25年度、26年度2年間にわたって実施してきた中学校における武道必修化に伴う「授業協力者養成講座」も延べ117人の修了者を数えているが、受講者の誰もが、剣道の理念をいかに生徒たちに伝えるべきか真剣に考えての受講であった。文部科学省の期待に応えるためにも、今こそ剣道人全体が、自己の修行方向を再確認すべきときであろう。

次に、具体的事業を概括するとき、まず、全日本女子剣道選手権大会における山本真理子選手の2連覇に続き、大阪府警の田山秋恵選手が全日本の覇者となり実に大阪3連覇という輝かしい成績を残したこと並びに同じく警察官の大石弓絵選手が全国警察剣道選手権大会女子の部で優勝さらに全日本実業団女子剣道大会におけるパナソニックエコソリューションズ社門真の団体優勝など女子の活躍は目を見張るものがある。

第9回を終えた全国都道府県対抗少年剣道優勝大会は、27年度の第10回大会を最後に「地域活性化センター」の補助金打ち切りが決まり、その対策について大阪市を交え種々の検討を加えた。剣道連盟としては継続することを念頭に、財源確保の道を探る方策を確立するとの結論に達している。また、この事業を通じて、中体連、高体連、警察、実業団、官公署、道場連盟、地域団体等の連携も生まれ、暑中稽古の実施とともに、オール大阪としての結束が生まれつつある。

暑中稽古の実施については、年々、会場確保が難しくなる中、舞洲アリーナで1日、岸和田市総合体育館で1日と分散実施にならざるを得なかった。引き続き、全国に誇れる立派な事業に仕上げていくべく努力したい。

講習委員会の中に、女子向上部会を作り、未来構想委員会と共同で活発化する女子部の充実を図るべく検討した。

講習会開催については、種々検討されたが、新しい試みであった高段位受審者対象講習会については新規の受講者が少なく、課題を残した。

平成26年度は、平成27年度、28年度の新しい代議員選出選挙実施の年度に当たっており、平成27年1月22日、会長から委嘱された選挙管理委員5名により第1回選挙管理委員会が開催された。選挙管理委員会では、互選により委員長に島野大洋委員を選出し、島野委員長の指揮のもと選挙事務が執行された。2月10日選挙告示後、一連の選挙日程が発表されたが立候補者がなかったため、全域選挙区及び9地区の地域選挙区それぞれの代議員推薦委員会から推薦された260名の代議員が選出された。

会員各位の活動を支える事務局としては、事務効率化を図ると共に親切丁寧な対応を心がけた。さらに、事務文書等の整理のためのPDF化を導入し、IT・広報委員会、個人情報保護管理委員会の指導を仰ぎつつ、事務処理に遺漏なきよう内容検討を加えてきた。

以下、平成 26 年度事業計画に基づき実施した具体的事業について概括する。

I 公益事業

1、 個人会員および登録団体の状況

個人会員制については、ようやく周知され、認識がさらに深まっているものと考えられる。公益法人の事業は、会員だけを対象としたものではなく、不特定多数の者の利益追求を目的としているため、ごく一部ではあるが、会員となる必要はないと誤解する人たちもいる。社団法人とは、会員があり、その会費で運営されているものである。本来、剣道は、師がいて、仲間がいて切磋琢磨する、道場文化として継承されてきた。ぜひ会員として共に成長発展を目指して欲しいものである。

道場文化としては、登録団体がその形態を引き継いでおり、保険加入、会費の納入、道場等の環境整備等々の役割を果たしており、個人会員数は、高校生相当年齢 2,534 名、大学生相当年齢 1,142 名、一般 12,204 名であった。なお、中学生以下の登録者、8,922 名で、その合計は 24,802 名であった。昨年度と比べると、高校生相当年齢は微増、大学生相当年齢は微減、一般は増加となった。中学生以下の登録者数は、昨年度に引き続き増加の傾向がみられる。

本年度の入会登録団体は 5 団体あり、退会登録団体は 1 団体で、本年度末の登録団体数は 556 団体と 4 団体増加した。

2、 講習会の開催及び指導者育成事業（定款第 4 条第 2 号）

真の剣道精神と正しく高度な技術を兼ね備えた剣道人の育成を目指すと共に、各層の剣道の普及発展を図る為、当連盟が主催する講習会を、剣道においては、審判法 2 回（8 月 10 日に実施予定であったものは台風の影響により中止）、日本剣道形 3 回、指導法 4 回、女子剣道普及のための稽古会・講習会を 3 回、合計で 12 回開催したほか、昨年度に引き続き、「剣道高段位受審者対象講座」を 2 回開催して、高段位受審者の合格率の上昇を目指した。

これらに加えて、全剣連後援講習会（指導法）を公認審判員・審査員を中心に受講者を募り、1 回行なった。

また、地域・職域における講習会には、講師手当の一部を補助して開催を促進した。地域においては、審判法 9 回、日本剣道形 9 回、指導法 7 回、合計で 25 回開催し、職域（大阪剣道協会、中学校体育連盟、高校体育連盟、学生連盟、実業団、官公署）においては、11 回開催した。

上記の講習会には、段位・級位審査員、審判員および称号受審者に年 2 回の受講を義務づけている。

さらに、9 月には、全剣連の主導により中学校における武道必修化に対応した第 2 回目の「授業協力者養成講習会」を実施した。受講者は 50 名であった。

居合道では、特別強化練習会・夏季講習会など 8 回実施し、25 年度に引き続いて、全剣連派遣講師による講習会を 1 回実施、合計 9 回の講習会を行なった。

杖道では、7 回の主要講習会に加えて 9 回の月例研修会を開催した。

また、三道共通講習会として、例年開催している、「スポーツ安全講習会」を 6 月 28 日（土）大阪市中央体育館大会議室に於いて、医学博士 江尻新太郎先生と仲谷吉記先生を講師にお迎えし、「診療室から見た老化現象」と「加圧トレーニングの理論と実際」の 2 つのテーマついて、開催したところ、107 名が受講し、大きな反響を得た。

暑中稽古・寒稽古の開催については、オール大阪暑中稽古と銘打ち修道館との共催事業として7月26日舞洲アリーナ、8月6日岸和田市総合体育館で実施し、延べ1700人の参加があった。府内剣道人が一堂に会し、共に汗を流し、自己の存在を確認し、成長を図る場として、今後も一層の成果を期待したい。また寒稽古は1月4、5、6日に中央体育館で実施されたが、午後については、中体連、高体連が独自の事業として寒稽古を実施した。

3、各種大会開催事業（同条第3号）

- 本連盟主催分・・・ 6月15日（日）第51回大阪杖道大会
 6月29日（日）第47回大阪府少年剣道大会
 7月20日（日）第61回大阪府剣道優勝大会
 9月14日（日）第9回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会
 11月1日（土）第11回大阪府女子剣道優勝大会
 本連盟後援分・・・ 10月18日（土）第44回居合道段別大会
 11月16日（日）第37回関西杖道優勝大会
 12月7日（日）第56回大阪居合道大会
 本連盟主管分・・・ 4月29日（祝）第62回全日本都道府県対抗剣道優勝大会
 5月25日（日）大阪市長杯第58回市民剣道大会

恒例となった全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会も、第9回を実施し、全都道府県からの参加を得て（小学生47チーム、中学生48チーム（但し大阪府チームは各2チーム出場）、無事に終えることができた。本大会は、文部科学省・総務省主唱による剣道普及発展と地域の活性化を促進するため、（一財）地域活性化センターからの助成を得て、大阪市とともに開催している大会である。

4、府外剣道大会等への役員、選手および受講者等の派遣（同条第4号）

次のとおり派遣した。

<剣道>

- | | | | |
|-----------|--------|----------------------|-------------------------------|
| 4月5日（土）～ | 6日（日） | 第49回剣道西日本中央講習会 | 神戸市
西川、玉井、愛甲 |
| 4月20日（日） | | 第12回全日本選抜剣道八段優勝大会 | 名古屋市
石塚、船津、山本、神崎 |
| 4月29日（祝） | | 第62回全日本都道府県対抗剣道優勝大会 | 大阪市
岸本、奥山、嘉数、高、村上、前田、山岡、新屋 |
| 5月2日（金）～ | 5日（祝） | 第110回全日本剣道演武大会 | 京都市
参加者：431名 |
| 5月21日（水）～ | 25日（日） | 第52回剣道中堅剣士講習会 | 奈良市
中尾、檜垣、安田 |
| 7月19日（土） | | 第6回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会 | 東京都
牛草、三木、秋田、大石、酒匂、石田 |
| 8月24日（日） | | 第69回国体近畿ブロック大会 | 滋賀県守山市
少年男・女、成年女子 13名 |

9月 7日 (日)	第53回全日本女子剣道選手権大会	姫路市	
		山本、豊丸、田山	
9月21日 (日)	第60回全日本東西対抗剣道大会	島根県出雲市	
		谷山、石田、船津	
9月14日 (日)	第9回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会	大阪市	
	小学生チーム 2チーム、中学生チーム 2チーム	計4チーム	
10月19日 (日)～21日 (火)	第69回国民体育大会	長崎県五島市	
	少年：男子、成年：男子・女子	計3チーム	
10月 4日 (土)～ 6日 (月)	第27回全国健康福祉祭	栃木県小山市	
	大阪府チーム：井上、西ノ原、伊藤、小川、右田、安部		
	大阪市チーム：石田、井尻、泉田、江良、大泉、高島		
	堺市チーム：金内、河内、藤澤、藤田、小池、奥村		
11月 3日 (祝)	第62回全日本剣道選手権大会	東京都	
		古川、前田、友井	
<居合道>			
5月 2日 (金)	第110回全日本剣道演武大会	京都市	参加：68名
7月12日 (土)～13日 (日)	全剣連地区講習会	岡山県岡山市	
			参加：75名
9月 6日 (土)～ 7日 (日)	第41回全剣連中央講習会	京都市	
		中野、光行、伏見	
10月25日 (土)	第49回全日本居合道大会	福島県福島市	
		山内、吉田、中島、柴田	
<杖道>			
5月 2日 (金)	第110回全日本剣道演武大会	京都市	
			参加：14名
5月31日 (土)～6月 1日 (日)	第23回全剣連中央講習会	千葉県勝浦市	
		下谷、奥本	
8月23日 (土)～ 24日 (日)	全剣連地区講習会	愛知県豊田市	
			参加：14名
10月 5日 (日)	第41回全日本杖道大会	東京都豊島区	
	初段：坂、二段：令官、三段：宮田、四段：老松、五段：渡邊		
			参加：34名
平成27年1月17日 (土)～1月18日 (日)	全剣連地区講習会	東京都	
			参加：16名

5、 称号および段級位の審査並びに段級位の授与 (同条第5号)

段位審査会は、剣道6回、居合道2回、杖道2回実施した。剣道の受審者数は6,164名で、前年より2.9%の減少、居合道と杖道は変化が見られなかった。

6、 功労者の表彰（同条第6号）

- ①平成26年度 全剣連 剣道有功賞 田邊 一司
山内福三郎
中 寛和
- ②範士称号受称 剣道 小久保昇治
- ③八段昇段 剣道 加藤 忠次
石田 洋二
笹月 繁
米村 幸生
秋田 誠司
居合道 伏見 仁史
- ④平成26年度 全剣連 少年剣道教育奨励賞
- | | | |
|-------|--------------------------|------------|
| 豊能地区 | 豊中南桜塚剣友会 | |
| 三島地区 | 耳原剣友会スポーツ少年団 | 講武錬成会 |
| 大阪北地区 | 城東警察署少年剣友会 | 東淀川少年剣道推進会 |
| 大阪南地区 | 阿倍野区民剣道教室 | |
| 北河内地区 | 桜風館 | |
| 中河内地区 | 八尾市剣道協会北
布施少年剣道推進会 | 剣竜会 |
| 堺地区 | 大阪つばさ剣道クラブ
新金岡親子剣道クラブ | 東陶器春風会 |
| 泉州地区 | 大阪剣武館 | 幸友会剣道クラブ |
- ⑤平成26年度 大阪府 生涯現役スポーツ賞
- | | | |
|--|-----|-------|
| | 金 賞 | 西村 肇 |
| | 銀 賞 | 藤本 康廣 |
| | 〃 | 高崎 健一 |
| | 〃 | 右田 善法 |
| | 団体賞 | 長 正 館 |
- ⑥第52回全日本女子剣道選手権大会 優勝 田山 秋恵
(大阪剣道協会)
- ⑦第9回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会 小学生の部 優勝 大阪府 A チーム
中学生の部 優勝 大阪府 A チーム
- ⑧平成26年度全国警察剣道選手権大会 女子の部 優勝 大石 弓絵
- ⑨平成26年度全国高等学校定時制通信制体育大会 第45回剣道大会
男子個人の部 優勝 藤本 凜
(天王寺学館高等学校)
- ⑩第18回全日本実業団女子・高壮年剣道大会
- | | | |
|------------|-----|---------------------|
| 女子団体 | 優 勝 | パナソニックエコソリューションズ社門真 |
| 高壮年の部 五段以下 | 優 勝 | パナソニック株式会社本社 柴田 博充 |

7、その他大剣連の目的達成のための必要な事業（同条第7号）

①普及活動の推進

会員の活動状況の把握に努めると共に、普及委員（地区担当理事）を中核として9地区毎に地区普及協会組織を強化し、地区内の普及活動を活発に推進した。

◇地区および職域講習会の開催

各地区・職域における指導者層のレベルアップを図り、正しい剣道の普及と活力ある指導者の育成を目指して36回開催され、活発な活動が行われた。

◇地区大会の開催

各地区および職域等で開催された23回の剣道大会に後援、援助を行なった。

◇地区昇級審査会の開催

平成22年4月1日から、新制度下で行われており、各地区で小中学生を対象に、65回の昇級審査会が開催された。

◇予算措置

9地区剣道普及協会に対しては地区活動推進のために、居合道、杖道、中体連、高体連、学生剣連、社会人剣連、官公署、大剣協、道場連盟等に対しては活動推進のために、補助金審査委員会の決定のもとに、補助金を支出し、援助を行なった。

◇報道促進

迅速な情報提供のために、ホームページの活用について検討を続け、ツイッター・メールマガジン・行事の写真・動画の配信を引き続き推進した。また、新聞・通信社に、当連盟の開催する大会、予選会等の記事掲載のため、情報を提供している。

②安全対策

保険加入の徹底

◇行事傷害保険

会員に傷害保険の重要性について理解を求め、大剣連主催行事に際しては、主催者として、行事傷害保険加入を完全実施している。熱中症・脳梗塞・食中毒なども適用範囲となっている。

◇スポーツ安全保険

会員団体の日常稽古における傷害などの補償確保については、契約者を（公社）大阪府剣道連盟会長とした加入申込書と説明書を全会員団体に送付し、加入を促している。把握している加入数は199団体2,757名と横ばい傾向にある。なお一層の加入者数の増加に努めたい。

傷害発生傾向

事故・傷害の保険適用件数は82件で、昨年度に比べ若干減少した。重大事故・重大傷害の発生は報告されていない。四肢の捻挫や骨折が多く、その状況は、転倒や稽古者同士の接触によるものが多数報告されており、稽古の方法について一考の必要があると思われる。また、自宅から稽古場へ通う道中の事故・怪我也発生しており、各登録団体において、事故防止・交通安全指導をお願いしたい。

級位審査に「木刀による剣道基本技稽古法」が取り入れられた関係上、より安全性を重視するよう、関係者に注意を促している。

II. 収益事業

1、全剣連発刊出版物等の頒布事業

講習会資料、試合・審判規則、日本剣道形解説書など、総計856冊を販売した。

2、広告等募集事業

大会プログラムに広告掲載を各方面より募集し、総数31件、総計640,000円の協力を得た。

Ⅲ. 共通事業

事業活動組織

常任理事会を3回、理事会を5回開催し、業務運営の方向を定めつつ、事業を実施した。事業活動の円滑な遂行のため、委員会間の連携を図り、活発な活動を行なった。常置委員会として、総務・法規整備、綱紀・安全、個人情報保護管理、補助金審査、財務、未来構想、IT・広報、普及、講習会、審査員選考、審判員選考、審査、審判、強化、事業、少年、居合道、杖道の18専門委員会を設置、強化委員会の中には一般男子、女子、高体連、中体連のグループを設置し、それぞれの領域で活動を行った。さらに、平成23年度から個人会員制を実施したことに伴い、IT・広報委員会中心に事務全般にわたるシステム化を推進し、事務局保存資料のPDF化にも着手した。女子の講習会の充実を図るため、講習会委員会の中に女子向上部会を設け、検討することになった。

11月 1日(土) 第11回大阪府女子剣道優勝大会 於はびきのコロセアム
 個人戦の部 優勝 一部：元木 二部：中山 三部：鳥濱
 四部：北出 五部：東角

参加：139名

団体戦の部 優勝 一部：大阪剣道協会B 二部：春風会B

参加：41チーム
136名

上記のほかに、大阪学生剣道連盟、高体連、中体連、大剣協、大阪社会人剣連、大阪官公署剣連等の各種大会について、後援を行なった。

(3) 各種予選会の開催

4月13日(日) 第6回全日本都道府県対抗女子剣道大会・大阪府予選

代表：三木、秋田、大石、酒匂、石田

於大阪市中央体育館

参加：41名

5月18日(日) 第69回国民体育大会・成年の部・大阪府予選

代表：(男子) 牛島、大石、木和田、川上、溝口
(女子) 山本、酒匂、石田

於修道館

参加：111名

5月31日(土) 全国健康福祉祭剣道交流大会予選会

於修道館

参加：34名

代表：(大阪府チーム) 井上、西ノ原、伊藤、小川、右田、安部
(大阪市チーム) 石田、井尻、泉田、江良、大泉、高島
(堺市チーム) 金内、河内、藤澤、藤田、小池、奥村

6月21日(土) 第53回全日本女子剣道選手権大会・大阪府予選

代表：山本、豊丸、田山

於大阪市中央体育館

参加：20名

8月31日(日) 第62回全日本剣道選手権大会・大阪府予選

代表：古川、前田、友井

於舞洲アリーナ

参加：55名

平成27年2月22日(日) 第63回全日本都道府県対抗剣道優勝大会・大阪府予選

代表：中西、森田、高、村上、大城戸、徳岡、吉田

於修道館

参加：172名

(4) 審査会

6月22日(日) 大東市民体育館

7月27日(日) 舞洲アリーナ

10月12日(日) 大阪市中央体育館

11月24日(祝) 富田林市民総合体育館

平成27年1月12日(祝) 大阪市中央体育館

3月28日(土) 大阪市中央体育館

	初 段	二 段	三 段	四 段	五 段	合 計	前 年 比	
受審者数	2,716	1,863	778	443	364	6,164	△ 181	△ 2.9%
(うち女性)	826	575	215	128	83	1,827	△ 88	△ 4.6%
合格者数	2,184	1,165	426	209	121	4,105	△ 32	△ 0.8%
(うち女性)	663	352	108	36	19	1,178	△ 14	△ 1.2%

参考 (称号および六段以上)

	六 段	七 段	八 段	錬士	教士	範士	合 計	前 年 比	
受審者数	505	335	244	75	48	—	1,207	△ 284	△ 19%
合格者数	77	54	5	72	47	1	256	△ 35	△ 12%

(※合格者数には、再受審者を含む)

(5) その他の事業

7月20日(日) 第61回大阪府剣道優勝大会 於大阪市中央体育館
 演武 日本剣道形 松岡俊雄 — 米崎和広
 小野派一刀流 井上勝由 — 野村光輝
 宝蔵院流槍術 前田繁則 — 尾野好司

7月26日(土) 暑中稽古 於舞洲アリーナ
 8月6日(水) 暑中稽古 於岸和田市総合体育館 参加者：延約1,700名

平成27年2月11日(祝) 第19回大阪武道祭 演武 於大阪市中央体育館
 参加：大阪府警察本部剣道女子特別訓練員他9名及び指導者1名

全剣連主催による次の講習会を主管した。

12月5日(金)～7日(日) 於コスモスクエア交際交流センター
 第42回社会体育指導員(中級)養成講習会

Ⅱ 居 合 道

(1) 講習会の開催および指導者の育成

5月24日(土)	第1回特別強化練習会・全日本居合道大会選考会	於千島体育館	参加：141名
7月6日(日)	第2回特別強化練習会	於千島体育館	参加：142名
7月21日(日)	審判講習会	於千島体育館	参加：85名
8月10日(日)	夏季居合道講習会	於千島体育館	台風の影響により中止
9月21日(日)	全剣連伝達講習会	於千島体育館	参加：136名
平成27年1月11日(日)	新年合同稽古会	於修道館	参加：106名
2月8日(日)	第3回特別強化練習会	於修道館	参加：146名
2月11日(祝)	高段者特別錬成会(英信流)	於修道館	参加：25名
2月22日(日)	春季居合道講習会	於東淀川体育館	参加：197名
3月22日(日)	無外流特別錬成会	於和泉市幸小学校	参加：29名
平成26年4月5日(土)～6日(日)	全剣連派遣講師講習会	於修道館	参加：延222名
全剣連派遣講師：三谷 昭雄 範士			

(2) 各種大会の開催

10月18日(日) 第44回居合道段別大会 於修道館 参加：160名

(段外は優秀演武者、初段～六段は優勝者、七段は最優秀演武者のみを記載)

<男子> 段外：柳井(近畿大)、河井(近畿大)、瀧川(一貫会)和田(春風会)、
林(大剣協)

初段：井内(近畿大) 二段：堀(交通局) 三段：永井(水月会)
四段：白坂(大剣協) 五段：林(八重垣会) 六段：坂口(一法会)
七段：本郷(大剣協)

<女子> 初・二段：老松(箕面協) 三・四段：藤原(水月会)
五・六段：古谷(大剣協)

12月7日(日) 第56回大阪居合道大会 於舞洲アリーナ 参加：1,430名

(段外は優秀演武賞受賞者数、初段～六段は優勝者、七段は最優秀演武者並びに福田一男杯受賞者のみを記載)

<男女混成> 段外：40名
七段…福田一男杯受賞者：馬場清治(福岡)
…最優秀演武者：大垣俊三(広島)

<女子の部> 初段：山本美夏(同志社大) 二段：森田久未(同志社大)
三段：辰巳 碧(千葉) 四段：久保博美(兵庫)
五段：稲荷有子(神奈川) 六段：浅岡恵美(富山)

<男子の部> 初段：中山義明(同志社大) 二段：樋上佳孝(同志社大)
三段：高橋龍平(近畿大) 四段：早野充浩(岐阜)
五段：荒木正亨(福岡) 六段：栗原富雄(広島)

<団体の部> 優勝：無外流交通局 2位：大阪剣道協会A

(3) 各種予選会の開催

5月24日(土) 第49回全日本居合道大会大阪府選手選考会 於千島体育館
参加: 134名
監督: 山内 選手: 吉田、中島、柴田

11月15日(土) 第56回大阪居合道大会大阪府予選会 於大阪市立千島体育館
参加: 170名
3位: 水月会・北摂会A 決勝戦は、12月7日大阪居合道大会で実施した。

(4) 審査会

8月30日(土) 於修道館
平成27年3月7日(土) 於修道館

	初段	二段	三段	四段	五段	合計	前年比
受審者数	21	18	26	39	14	118	±0名
合格者数	18	11	15	17	5	66	△9名

	六段	七段	八段	錬士	教士	範士	合計	前年比
受審者数	13	6	11	4	3	—	37	±0名
合格者数	1	3	1	4	3	—	12	+2名

(※合格者数には、再受審者を含む)

(5) その他の事業

7月20日(日) 第61回大阪府剣道優勝大会 於大阪市中央体育館
演武 無外流小太刀之形 中野八郎 — 浅野邦雄

平成27年2月11日(祝) 第19回大阪武道祭 演武 於大阪市中央体育館
参加: 光行良一 — 本郷雅昭
東弘一 — 柴田勝己

Ⅲ 杖 道

(1) 講習会の開催および指導者の育成

4月 6日(日) 春季講習会	於東淀川体育館	参加：85名
5月11日(日) 審判講習会	於川西市総合体育館	参加：45名
6月 8日(日) 審判講習会・伝達講習会	於川西市総合体育館	参加：57名
7月13日(日) 強化錬成会	於川西市総合体育館	参加：31名
8月 3日(日) 強化錬成会	於川西市総合体育館	参加：43名
9月 7日(日) 強化錬成会	於川西市総合体育館	参加：49名
10月26日(日) 秋季講習会	於東淀川体育館	参加：96名
5月～3月 杖道月例研修会	於川西市総合体育館	9回開催

(2) 各種大会の開催

6月15日(日) 第51回大阪杖道大会兼第41回全日本杖道大会大阪府予選会
於川西市総合体育館 参加：135名

(優勝者のみを記載)

初段：坂(弁天) 二段：令官(守口) 三段：宮田(玄武館)

四段：老松(玄武館) 五段：渡邊(住吉武道館) 六段：奥本(穹盈館)

11月16日(日) 第37回関西杖道優勝大会 於川西市総合体育館 参加：170名

(優勝団体(者)のみを記載)

<団体戦> 玄武館A(飴、老松、宮田)

<個人演武優秀賞> 段外：上條(神戸大)、仲谷(河内長野)、平井(弁天)、藤井(夢道場)

初段：石本(守口)、金丸(和歌山)、藤信(撰南大)

二段：中村住吉武道館、山口(養峻館)、渡辺(泉佐野調和会)

(3) 各種予選会の開催

※上記、6月15日(日) 第51回大阪杖道大会兼第41回全日本杖道大会大阪府予選会に記載

(4) 審査会

4月27日(日) 於大阪市中央体育館

11月 9日(日) 於修道館

	初段	二段	三段	四段	五段	合計	前年比
受審者数	26	25	12	7	12	82	+1名
合格者数	21	23	11	4	6	65	+4名

	六段	七段	八段	錬士	教士	範士	合計	前年比
受審者数	0	4	2	2	0	—	8	-3名
合格者数	0	1	0	2	0	—	3	+1名

(※合格者数には、再受審者を含む)

(5) その他の事業

7月20日(日) 第61回大阪府剣道優勝大会 於大阪市中央体育館

演武 全日本剣道連盟杖道形 池原一義 — 坂上 亨

内田流短杖術 帆谷増幸 — 中野伊織

一心流鎖鎌術 古谷重勝 — 服部知司

一角流十手術 石河和彦 — 近藤眞佐雄

11月11日(日)第56回全国杖道大会 福岡県福岡市 参加19名
七段の部 優勝 坂上 亨(玄武館) 四段の部 準優勝 老松 美由紀(玄武館)
三段の部 三位 長澤 裕介(玄武館) 二段の部 準優勝 飴 和寿子(玄武館)

平成27年2月11日(祝) 第19回大阪武道祭 演武 於大阪市中央体育館
参加:石河和彦 - 古谷重勝 近藤眞佐雄 - 坂上 亨

3月22日(日)杖道体験講習会 於森ノ宮医療学園 一般受講者14名

これらの他、普及・振興のために各地・各大会での演武活動に力を注いだ。

平成 26 年度事業報告 附属明細書

平成 26 年度事業報告には、「一般法施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成 27 年 5 月

公益社団法人 大阪府剣道連盟